

図書館だより

87.4

ライム・ライト 再び

チャップリン没後10年

映画はいま....



Charles Chaplin (1889.4.16-1977.12.25)

目次

映画が好きなあなたへ	2	笠原あけみ・須藤純子	6
雑誌紹介 リュミエール	3	ビギナーのための図書館格言集(抄)	6
新規継続購入雑誌「基礎ドイツ語」	4	貸出規則改正について	7
図書館で購入している主な語学雑誌	5	藤に咲く花 5 トケイソウ	8
自己紹介による図書館職員ラインアップ5 黒沢田鶴子	5		

映画が好きなあなたへ

かつては映画が歴史をテーマにした。今は映画の歴史が語られている。社会史、文化史の中に位置づけられるものから、関係者の個人史まで、まことに賑やかである。また、映画を見る人たちも、監督や俳優についてやかましいこと、あたかも料理店をあげつらうが如きである。そんな人たちのために、館蔵資料の中から、映画監督、映画俳優に関するものを紹介する。折しもチャップリン逝って10年の節目、じっくり下地をこしらえて、大いに映画を論じていただきたい。

〔監督〕

- 「ペルイマンの世界」 J. シクリエ著 浅沼圭司訳 竹内書店 778-B38s
 「エイゼンシュテイン」 山田和夫著 紀伊国屋書店 778-E39y
 「ゴダール」(現代のシネマ1) ジャン・コレ著 竹内健訳 三一書房 778-G34-1
 「ゴダールの世界」 R. ラウド著 柄谷真佐子訳 竹内書店 778-G55r
 「ワイダ」(現代のシネマ6) アドラン・トリノン著 金子恵一訳 三一書房 778-G34-6
 「フェリーニ」(現代のシネマ7) ジルベール・サラシャ著 近藤矩子訳 三一書房 778-G34-7
 「ロッセリーニ」(現代のシネマ10) マリオ・ヴェルドーネ著 梅本浩志、大空博訳 三一書房 778-G34-10
 「アラン・レネの世界」 J. ウォード著 出淵博訳 竹内書店 778-R28w
 「ヒッチコック万歳」(植草甚一スクラップブック2) 植草甚一著 晶文社 081-U39-2
 「わが映画の青春」(中公新書) 衣笠貞之助著 中央公論社 778-Ki47
 「蝦蟇の油 自伝のようなもの」 黒沢明著 岩波書店 778-Ku76
 「黒沢明の世界」 佐藤忠男著 三一書房 778-Ku76s
 「黒沢明の世界」(朝日文庫) 佐藤忠男著

朝日新聞社 778-Ku76s *三一書房版の増補改訂版

- 「わが青春の黒沢明」(文春文庫) 植草圭之助著 文芸春秋 778-Ku76u
 「ある映画監督 溝口健二と日本映画」(岩波新書) 新藤兼人著 岩波書店 778-Mi93s
 「監督小津安二郎」 蓮実重彦著 筑摩書房 778-099h

〔俳優〕

- 「私一人」 ローレン・バコール著 山田宏一訳 文芸春秋 778-B13
 「ルイズ・ブルックスと「ルル」」 大岡昇平著 中央公論社 778-B76o
 「チャップリン自伝」 チャールズ・チャップリン著 中野好夫訳 新潮社 778-C33
 「回想のジャン・ギャバン」(平凡社カラー新書) 池波正太郎著 平凡社 778-G11i
 「ジャン・マレエ」 ジャン・コクトオ著 田島梢訳 出帆社 778-Ma51c
 「マリリン 嘆きのヴィーナス」(角川文庫) エドウィン・ホイト著 片岡義男訳 角川書店 778-Mo36h
 「Marilyn」 By Norman Mailer. Grosset & Dunlap. 778-Mo36m
 「一俳優の告白 ローレンス・オリヴィエ自伝」 ローレンス・オリヴィエ著 小田島雄志訳 文芸春秋 778-059

雑誌紹介 リュミエール

リュミエールは映画の季刊誌です。蓮見重彦編集長は、われわれは映画史、批評、映画学、映像記号論などをことごとく捨て去ると言います。それは「映画の語りかけに存在をあげて耳傾けるためなのだ」と。そしてまた、われわれは映画のために存在すると言い切ります。

この雑誌は昭和60年9月創刊で、映画の復権が語られてから、相当の時間が過ぎました。その主張と背景には意味があります。

映画に若い人が戻ったと言われても、時代が戻る訳はなし。娯楽が乏しい頃の映画が、そのまま現代に復活したのでもありません。

カラコルムの美しさに息をのみ、火を吹くゴジラに足を踏ん張ることは、もうない。映画から人々の関心を奪ったテレビ、ボーリングや、ゲーム・マシン、カーはそのまま残り、新しくビデオやパソコンも家庭の中に入りました。

従って、映画の社会性も画一的ではなく、映画と人々とのかわりも多様化しました。作品評価も一律でないことは、小規模館が共存する現状がよく示していきましょう。

リュミエールが「映画の語りかけに存在をあげて耳傾けよ」と大声を出したのは、映画とのふれあいの原点として適当なことです。でもそれを多数の原稿を編集して現わすのは難しい。

例えば3号ハリウッド50年代、4号日本映画の黄金時代、5号山中貞雄の各特集は、口ほどもない懐古趣味と安易に見られかねません。2号はフランソワ・トリュフォー特集ですが、捨てた苦の批評や映像論的な記事で構成されて

—— 映画と現代と ——

います。皮肉にもこの2号は内容が豊かです。

存在をあげて耳傾けた人々の原稿には、赤あり青あり、どれをとるのも読む人の自由のように見えます。しかし刊行された6冊を並べて眺めると、目に美しい多くのいろどりを包み込んで流す勢いに気付きます。何色を評価したところで、赤や青を並べた台は、すでにちゃんと緑に塗られていると言うわけです。

それがリュミエールの特色でも限界でもありましょう。2号よりフランソワ・トリュフォー最後のインタビューが、長期連載で、これが端的に本誌の性格を語っています。

いわゆる予告編雑誌、ファン雑誌と異って、

打込んだ、好きな文章が多く、読ませられ、考えさせられます。多くの筆者は映画を語りながら自己の世界を描きます。だから黒沢明とクロサワは、それぞれが生きている別人になったりして置ります。何十年も前の名女優リアン・ギッシュの文章が、映画を、人をよみがえらせます。6号のD. W. グリフィスの特集は、

とても良いものでした。90日間映画日誌という読者頁はきらきら輝きます。そして無条件に輝くものは、各号の数多い白黒のスチールです。入念に吟味され計算し尽くされた選択と組みです。「リュミエール」は、光の意味ですが、こうしてスチールを見詰めると、画面の美しさとは、むしろ影の美しさと強く感じました。

(TS)



新規継続受入雑誌紹介

「基礎ドイツ語」 三修社 月刊

1987年1月号(第37巻第9号)より継続購入

大学生ともなれば、英語の他に独語や仏語を習ってみたいという気持ちは誰にでもあるのではないだろうか。図書館でも多くの語学雑誌を購入しているが、今年から新たにドイツ語の学習雑誌が継続購入となった。そこでこの雑誌の内容紹介をかねて、1月号の目次を掲載することにする。なお、図書館では購入していないが、内容の一部を収録した別売りのカセットテープ(定価1500円)がある。

「基礎ドイツ語」1987年1月号 目次

＊文法講座		ドイツ各州めぐり 9	
間接文の独立用法	寺門 伸	ラインラント・プファルツ州	大井田正守
hatte…不定形+sollen	真鍋良一	ドイツの暮し 9	
undと接続法第2式	和山謙三郎	静かなる1月 — 暖炉を囲んで	早川東三
安堵の接続法	小磯千代	文学・音楽のページ 9	
否定と接続法第2式	高木 実	ドイツ絶望文学の傑作	大野勇二
「あやうく…するとところだった」	桑原草子	絵でみるドイツ史 9	
今月の学習のポイント	信岡賢生	印刷術の発明	信岡賢生
＊テキスト		大学のある町 9	リューベック 信岡賢生
Es lebe das Leben im Indikativ!	諏訪 功	語学エッセイ	
Ein echter Freund	在間 進	発音はだいじょうぶですか?	荒井秀直
＊会話		時事ドイツ語 社会保障(1)	関口一郎
デート その2 デートの申し込み	宮内敬太郎	＊ラジオ・ニュース	
ちょっと独作文 9		Frauenvollversammlung 女性総会	関口一郎
「そうである(ない)」のder Fall	信岡賢生	Eine Kleine Pause!	
オブティカル・ドイツ語 9	諏訪 実	ドイツ語質問箱	佐伯・鐵野
特集 後期学習のまとめとトレーニング		力だめし(練習問題、派閥講座、懸賞問題)	
	三室次雄		
Gruss aus der Tokyo-Kogyo-Kotosenmon-gakko		一部省略	以上
「自由」と「創造」の高専	朝倉 巧		

ところでこの記事を書きながら、一つ発見があったので、ここにオマケとして書き加えておく。Steinbockとは何かご存じだろうか? 別に「怒りのぶどう」の著者John Steinbeckの名を間違っただけではない。この目次の左上角に“今月の星座”というのがある。1月の星座、つまり山羊座はドイツ語でシュタインボックと言うと書いてあったのだ。ちなみにスタインバックは、2月27日生まれなので魚座である。

< 図書館で購入している主な語学雑誌 >

— 誌名・発行所・刊期・所蔵状況 —

「言語」 大修館書店 月刊 1巻1号(1972)より所蔵

「言語生活」 筑摩書房 月刊 1号(1956)より所蔵

「国語学」 国語学会 季刊 1集(1948)より所蔵

「日本語学」 明治書院 月刊 1巻1号(1982)より所蔵

「英語青年」 研究社 月刊 17巻1号(1907)より所蔵(複製版は創刊号より)

「時事英語研究」 研究社 月刊 16巻1号(1961)より所蔵 欠号あり

「ふらんす」 白水社 月刊 24巻5号(1949)より所蔵 欠号あり

「基礎フランス語」 三修社 月刊 10巻1号(1980)より所蔵

「翻訳の世界」 日本翻訳家養成センター 月刊 3巻5号(1978)より所蔵 欠号あり

昭和61年度下半期 購入希望により入った本(一例)

「外人をどうしたらよいかどうか事典」 バキラハウス著 TBSブリタニカ

「スペイン幻想物語」 写真:大庭真悟 文:川成洋 グラフィック社

「ドキュメント昭和」(全10巻) NHK取材班 角川書店

「ガラバゴスの箱舟」 カート・ヴォネガット著 早川書房

「M/Tと森のフシギの物語」 大江健三郎著 岩波書店

皆さんも図書館に備えて欲しい本があればドシドシお申し込み下さい。

自己紹介による

図書館職員ラインアップ 5

黒沢田 鶴子 整理部

私は、現在一階の図書館事務室で和書の整理をして居ります。自己紹介をとの事ですが、とりわけて書く事もない黄しい者ですから、私の中で忘れ難く残っている一つの思い出を、ご紹介しましょう。昭和20年の終戦近い日の出来事でした。当時養高女では屋内体育館を学校工場として高学年の生徒は授業を停止して陸軍被服廠の作業に当って居ました。或る日空襲警報になり寄宿舎にいた私とSは、御真影奉安殿横の防空壕に避難しました。其処にはすでに、牧野校長、クサベラ先生、長船(1972)先生が居られ、先生に押されて身を低く伏せて居ました。上空を敵機が通過したのか、遠い爆音が突然大きく

なりました。

その時、長船先生は私とSの上に毛布をかけその上から御自分がかぶさったのでした。学校は爆撃にも会わず、やがて終戦を迎え、その日から40余年が過ぎました。この時の先生を思い出すと今も感謝で熱くなります。先生はもう80才をこえ、マリア院の支部で幸薄い子等の為に祈りと共に力を尽くして居られます。安らかな、お健やかな日々をと、心から願って居ります。

笠原 あけみ 総務部

私も影武者の一人。普段は一階の図書館事務室に身を寄せ、またある時にははるばる書庫3層まで出かけ、雑誌に関する仕事をしています。一口に雑誌といってもお固い研究紀要等の学術雑誌から、読んで楽しい文芸誌、写真の美しい服飾関係の雑誌、各種新聞等に至るまで、その種類は本当に様々、新刊のみならず古い資料も大切に扱わなければならないので「古書アレルギーでカユイ！」などとは言ってもらえないのが辛いところです。図書館では現在約3,000タイトルの雑誌を所蔵していますが、それらの受入業務と製本あがりの資料の処理とに追われる毎日です。

須藤 純子 奉仕部

調査・案内カウンターを担当しています。貸出カウンターとは違ってなじみの薄いカウンターかも知れませんが、言葉通り、授業やレポート、又、日常生活の中でわからない事を調べお手伝いをする係です。例えば、目録で探したけれど見たい本が無い、どうしたら読むことができるか？ このような場合には他の図書館から借りたり、出版目録等で購入できるかどうかを調べたりといったような仕事です。気軽に声をかけて下さい。

私もすっかり昔の事になってしまいましたがこの図書館で学生生活の大半を過ごした者の一

人です。図書館に来れば必ずクラスの友達に会え、ゼミやレポートの下調べ、果てはゼミの予行演習まで、小声で意見をたたかわせている内につい大声になり、係の方から随分お小言をいただいたものでした。いま、反対の立場になり注意して歩く都度、何だか昔の自分を叱っているような気がします。本を読む時間は少なくなりましたが、本に囲まれている今の生活は大好きです。

ビギナーのための図書館格言集(抄)

- 【木を見て森を見ず】 貸出中もあれば製本中もある。書架にある本だけを見て諦めるな。必ず目録を見ろということ。
- 【先んずれば人を制す】 レポートや試験のテーマが決まったら、まず図書館に駆けつけ、関係資料を独り占めすること。先輩はこうしてよい成績を残した…カナ？ (JLN ｶﾝｶﾝｸﾞ)
- 【いそがばまわれ】 あせってノーチェックの資料を持ち出そうとし、ブック・ディテクションに引っかかって赤っ恥をかくな。ちゃんと手続きをしろということ。
- 【下手な鉄砲数打ちゃ当たる】 ビギナーは下手が当り前。労を惜しまず、こまめにたくさんの資料にあたらなければ、適切な結論が引き出せないということ。シニアにも言える。
- 【龜の甲より歳の功】 図書館の職員はベテラン揃いということ。何なりとご用命ください。

耳寄りなお知らせ！ 貸出規則改正について

本学図書館は他大学に比べ目だって利用が多い図書館であります。これもひとえに学生の皆さんが熱心に利用して下さるお陰と、職員一同大変うれしく思っています。私共としましては、利用者の皆さんに、図書館をできるだけ有効に使っていただきたいと考えているのですが、このたび“貸出冊数が少ない”とか“貸出期間が短い”という皆さんの声にお応えして、今年度より貸出規則を一部改正することにいたしました。

変更となる事項は以下の通りです。

○貸出冊数

(旧) 1～3年 3冊、4年 5冊

(新) 1～4年 5冊

○雑誌の貸出

(旧) 一夜貸出、一部1週間貸出も可能

(新) 展示中の最新号以外は全て1週間貸出

○カセットテープ・パンフレットなどの貸出期間

(旧) 3日間

(新) 1週間

○一夜貸出ができる資料

(旧) 参考図書(辞典類)・指定図書・雑誌

(新) 禁貸出資料(新聞の原紙や一部の特殊資料)を除く全ての資料

*一夜貸出は冊数制限がありません

<特別貸出>

○卒論、卒業制作、その他それらに類するものための貸出

(旧) 貸出期間 1ヵ月

(新) 貸出期間 1ヵ月、貸出冊数 通常の冊数プラス3冊(計8冊)

○相互貸借制度による他館資料の貸出

(旧) 当館の資料と同様の扱い

(新) 通常の冊数(5冊)を超えて貸出可能、同制度の貸出有効期間内での期間延長可能

○宇野文庫などの特殊資料の貸出

(旧) 借用願書を提出する

(新) 特別貸出願書を提出する

*実習期間中の貸出については、従来通り貸出期間の延長をします

以上

なお上記の変更に伴いまして、貸出・返却の手続きなどが一部変わりますので、詳しくはカウンターの係員におたずね下さい。図書館の利用規則には、まだ不便にお感じになる点があるかとは思いますが、今後も随時検討を重ね、使い易い図書館になるよう努力していきたいと思っています。何か気になる事があれば、お気軽に皆さんのご意見をお聞かせ下さい。どうぞよろしくお願い致します。

~~~~~ 藤に咲く花 5 ~~~~~

トケイソウ (Passion Flower)

2階、チャペルの隣にある温室で咲いているブラジル原産のつる性植物。日本では花の形が時計の文字盤に似ていることから時計草と呼ばれている。英語名の“パッション”はキリストの「受難」の意味で、スペインの古い伝説では十字架にはい登りキリストの手足を打ち抜いた釘の跡をふさいだ花であると言われている。またその蕾が聖餐用のパンを、半開きの花が東方の星を、全開した花の形が5つの聖痕（キリストが受けた傷）、釘、槍、慰らしめの柱、茨の冠を、その葉が槍の穂先と銀貨30枚（ユダがキリストを売った金）、つるがキリストを縛った紐をあらわしているとも言われている。この「受難の花」、花ことばは「神聖な愛」、花が直立していたら「宗教的熱情」「信頼・信仰」、花が裏返しになっていたら「宗教的迷信」(英)、「恋のはげしい苦しみ」(仏)。今回はまだ花が咲いていないため、写真は「世界の植物百科」(F. A. バイク著)より転載。



参考資料:「花の神話と伝説」C. M. スキナー著 八坂書房 1985 470.4-Sk3  
「花ことば 花の象徴とフォークロア 2」 春山行夫著 平凡社 1986 627-H34

★ 奇 贈 3 件 披 露

1. 国文学科昭和61年度卒業の皆さんから、記念として金一封を頂戴しました。「室生犀星未刊行作品集」全7巻、三弥井書店(既刊1冊)の購入費用に当てられます。
2. また、別科昭和61年度卒業の皆さんからの寄付により、次の2冊が購入されました。  
「モードのイタリア史」 R. L. ビセツキー著 平凡社 1987

「Handbook of life in Bible times」  
By J. A. Thompson. Inter-Varsity Press. 1986.

3. 藤の実会(本学同窓会)から、木製の豪華な雑誌用書架が2台奇贈されました。閲覧室に置かれています。

★ 人 事 異 動

|    |               |    |         |    |               |    |           |
|----|---------------|----|---------|----|---------------|----|-----------|
| 採用 | 大浪章子(オオミチ アキ) | 総務 | 昭62.1.1 | 退職 | 森谷和子(モリヤ カズ子) | 総務 | 昭61.11.22 |
|    | 高橋園子(タカハシ ソノ) | 奉仕 | 昭62.4.1 |    | 魚住若子(イサジ マキ子) | 奉仕 | 昭62.1.16  |
|    | 小関淳子(オセキ ツグ子) | 奉仕 | 昭62.4.1 |    | 戸村倫子(トムラ ミチ子) | 奉仕 | 昭62.1.31  |

藤女子大学 図書館 だより 第27号 1987.4.10  
藤女子短期大学

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館